

2014 AUTOBACS SUPER GT Round 1 OKAYAMA GT 300 km RACE

2014年4月5日(土)~4月6日(日)

決勝 レポート

81 Laps



場所:岡山国際サーキット(岡山県) 1周 3.703 km

天候:曇り-雨-晴れ / コース:ドライ-ウエット-ドライ / 気温:9℃ / 路温:20℃ / 観客動員数:9,000人

シーズン初戦完走

2014年 SUPER GT 第1戦の決勝が岡山国際サーキット(岡山県)で行われた。3シーズン目を迎え、熟成された#61 SUBARU BRZ R&D SPORT。昨日の予選では気温に悩まされ、残念な予選結果ではあったが、何とか初戦で結果を出したいところである。

4月6日(日)

<決勝 81LAPS / 14:00~>

昨日に比べると雲が多く、今にも雨(みぞれ)が降りそうな、寒い一日となった。佐々木孝太がスタートを受け持ち、12番手からスタートを切る。佐々木は1コーナーを無難にこなし順位をキープしてメインストレートに戻ってくるが、やはりタイヤが冷えている状況では FIA-GT3勢に対して苦戦している。出来る限り順位をキープして後半につなげたい。ところが、走行中の#61 SUBARU BRZ R&D SPORT から異音が聞こえ出す。何とか規定周回数まではコースに留まらせたいところだが、徐々に異音



www.rdsport.net

が大きくなり、チームは小雨が降り出したタイミングでピットインを決断する。ピットに戻ったマシンを確認すると、リアのアンダーパネルが垂れ下がり路面とこすれている。どうやら1周目の黄旗区間で後続車に追突され破損した模様。かなりの時間を修復に費やし、再びピットアウト。その後、4周目でドライバー交代のためにピットインし、井口卓人に代わる。井口は第2戦に繋がる走り続け、21位でチェッカーを受けた。なお、GT500クラスの優勝は#37 KeePer TOM'S RC F、GT300クラスは#4 グッドスマイル初音ミクZ4 が制した。



■ 本島監督 コメント



危惧していた事が起こってしまい残念ですが、ドライバーもメカニックも次につながる良い仕事をしてくれました。完走も出来ましたしデータも沢山取れました。次戦富士頑張ります。

■ 佐々木 孝太 コメント



気温と路温に振り回されたレースウィークでした。Q1での路温はタイヤが発動する温度でしたが、Q2では急激に路温が下がり、本来のグリップを発揮する事ができませんでした。決勝のオープニングラップでは順位を落とすことなく耐えましたが、真後ろから追突され、ディフューザーが壊れるという残念な結果になってしまいました。しかし、そのようなバランスの悪い状況下でも、良好なタイムで走り、データを取れた事は、今後のレースにつながると思います。

■ 井口 卓人 コメント



まずは、開幕戦にドライバーとして参加出来る事を嬉しく思い、応援して頂いたファンの方々には感謝しています。レースは、非常に苦しい内容となりました。今大会は、予想以上に気温や路面温度が低く、車、タイヤのマッチングが完璧ではありませんでした。その中でも、僕の担当した Q1では、奇跡的にも急激に路面温度も上がり、高いパフォーマンスを発揮する事が出来ました。これは、今後のレースや夏に向けて非常にポジティブな結果だったと思います。レースでは、残念ながらアクシデントで結果は残せませんでした。チームの皆さんの素早い修復作業で、コースに復帰出来た事は感謝しています。その中で、データも取れましたし、この経験を次ぎにつなげていきたいと思っています。応援ありがとうございました。

予選・決勝の詳細に関しては SUPER GTホームページ <http://supergt.net/jp/>
またSUBARUモータースポーツニュース <http://www.subaru-msm.com/> もご覧ください

2014年4月6日
SUBARU BRZ
アールアンドデースポーツ
<http://www.rdsport.net/>



www.rdsport.net